

高円宮妃久子殿下の写真展

# レンズを通して見る 世界の野鳥たち

ごあいさつ

高円宮妃久子殿下は、世界各地を訪問された折にご愛用のカメラでその地域の歴史や自然環境を記録してこられました。特に自然の中に生きる野鳥の姿には特別な関心を示され、写真を通じて生命の尊さや自然環境保護の大切さを訴えていらっしゃいます。

妃殿下は「鳥は環境のバロメータ。命の不思議と地球の美しさに思いをさせ、彼らと私たちが共存できるような地球が一番私たちにとっても良い場所だということを改めて考えていただきたい。」と語られています。

本特別展覧会は、これまで妃殿下が撮影された、大自然の中で生き生きと羽ばたいている野鳥たちを紹介するものです。

また、高円宮殿下が妃殿下とともに蒐集された“根付(ねつけ)”を特別出品として展示させていただきました。根付は江戸時代、印籠などを帯から提げる際に紐の端につけた留め具です。日本が世界に誇る工芸品、手のひらサイズに凝らされたデザインと技巧、根付の魅力をあわせてお楽しみください。

平成 24 年 6 月 15 日

学校法人 東京聖徳学園 理事長  
聖 徳 大 学 学 長  
聖 徳 大 学 短 期 大 学 部 学 長  
学 園 長 川 並 弘 純

# いろいろな世界の野鳥たち

ご撮影：高円宮妃久子殿下



オオコノハズク  
(東京都)



カワセミ  
(島根県)



キンクロハジロ  
(英国)



コサギ  
(フランス)



バン  
(英国)



キノドミヤビゲラ  
(ブラジル)



ライチョウのヒナ  
(長野県)



コサギ  
(エジプト)



オオタイランチョウ  
(ウルグアイ)



ムラサキバン  
(エジプト)



アナホリフクロウ  
(アルゼンチン)



オキナインコ  
(アルゼンチン)

# 高円宮家 根付コレクション

根付は4～5センチほどの大きさの象牙や黄楊などに動植物や人物を彫り込んだ精巧な工芸品です。江戸時代には帯から下げる印籠などのひもの端に付ける留め具として使われました。明治時代以降、洋装の普及で留め具を使う習慣が失われましたが、今も「現代根付」として工芸作家らに技法が受け継がれています。

高円宮殿下は生前、現代根付を優れたコレクションとして残すために、妃殿下とともに蒐集に積極的にとりくまれました。両殿下の審美眼により集められ、大切にされてきた根付の数々は、これまでも国内外の展覧会に出展、公開されています。また、東京・上野 東京国立博物館の高円宮コレクション室には、作品の一部が常設展示されています。



能狂言 面づくし  
(岸 一舟)



ごっつあんです  
(後藤雅峯)



ホットケーキ  
(高木喜峰)



オーロラ (福山恒山)



孫悟空 分身の術  
(東 声方)



老婆 (天野松月)



金髪 (平賀胤寿)



春の七草 (宮沢宝泉)



誕生 (宮沢宝泉)



七輪 (桑原 仁)



茄子 (中川忠峰)

写真説明：作品名（作者名）

会 期：平成24年6月15日(金)～平成24年7月31日(火)  
午前9時～午後5時(休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)  
ただし6月15日(金)は、午後1時より公開  
会 場：聖徳大学1号館8階 聖徳博物館  
会場への案内：JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線とも松戸駅下車、  
東口より徒歩5分  
発行・お問い合わせ 聖徳大学川並弘昭記念図書館  
Tel047 - 365 - 1111 (大代) <http://www.seitoku.jp/lib/>